

ニュース

【令和4年2月以降の稽古について】

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の新規感染者の数がかつてないほどのスピードで増加しています。北星館も水曜日(岩屋中)の稽古を再開でき、喜んだばかりというのに、長与町武道館等の稽古場所では利用自粛要請があるなど稽古の継続が難しくなってきました。

本当に残念ではありますが、2月の稽古は中止とします。3月以降の稽古は感染状況を見ながら決定していくこととなります。会員の皆さんには申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

会員投稿 (吉田さんからの投稿です)

最近、電車内などで、立っているのがつらそうな人がいても席を譲ろうとする人が少なくなったとは思いませんか？

やっと座れたからこのまま座っていたい、席を譲ろうとしたときに断われたらなんとなく恥ずかしいなどといった理由もあるかと思えます。

他人には興味ない、自分には直接関係ないからと、無関心を決め込む人もいるかもしれません。

人助けしたいという心があっても行動に移す勇気がないといったこともあるかもしれません。

20年以上前の有段者研修会の際の話です。

その日の先生の講和は、新聞を読んだ感想などを話されていたときだったのでしょうか、

「バスなどにある優先席というものには反対です」といったことをおっしゃいました。

これを聞いた時、優先席はいいものと思っていた自分は不思議に思いました。

「優先席などなくても、席を必要とする人には譲るべきです」と続けられました。

あーそうなのだ、優先席なんかを設けないと席を譲らないという今の人達の方に問題があると言いたいのだと理解しました。

帰りの車の中で高段者の方が先ほどの話にふれ「自分もまったく同じ意見だ、優先席なんかあるから、それ以外の席に座っている者が席を譲ろうとしない」といったこと言われていました。

当時の自分には、このような発想はありませんでしたね。

長年、合気道を修行していると、このような考え方ができるのだなと感じた一瞬でした。

コロナ禍ということもありますが、自分のことが手一杯で他人なんか知らないという人が増えているような気がします。身勝手な行動をする人たちがネットや新聞でよくニュースになっています。

植芝盛平翁がつくられた道歌に「合気にてよろず力を働かし美しき世と安く和すべし」があります。

できる範囲でいいから相手のことを思い、助けてあげようという気持ちで行動していけば、いい世の中へと向かっていくはずです。今こそ、このような心が必要ではないでしょうか。

編集後記

新型コロナウイルスの変異種であるオミクロン株が猛威をふるっています。

感染リスクを考えると稽古が様子見となるのは仕方ないことですが、体的な稽古をしたいところですね。

しかし、最近「今の状況は『精神的な稽古をしろ』という合気道の神様の意志かもしれない」と思うようにしています。皆さんもいろいろ工夫してこの状況を乗り越えていきましょう。